

FY11/25

2025年11月期

# 決算説明会資料

---

2026年1月8日



大阪有機化学工業株式会社

(東証プライム 4187)



01 2025年11月期 決算概要

02 2026年11月期 業績予想

03 中期経営計画の進捗状況

04 参考資料

## ■2025年11月期 決算概要

### 外部 状況

雇用・所得環境の改善や各種政策の効果等を背景に緩やかな回復基調にあるものの、米国の通商政策や、国内の物価上昇などが景気の下押しリスクとなっており、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

### 売上

化成品、電子材料、機能化学品の各事業で前年に比べて売上高が増加しました。この結果、当連結会計年度の売上高は前年同期比**10.9%**増の、**362億6千5百万円**となりました。

### 営業 利益

売上高が大きく増加したことに加え、減価償却費の減少などにより、営業利益は前年同期比で**34.2%**増加し、**61億8千7百万円**となりました。

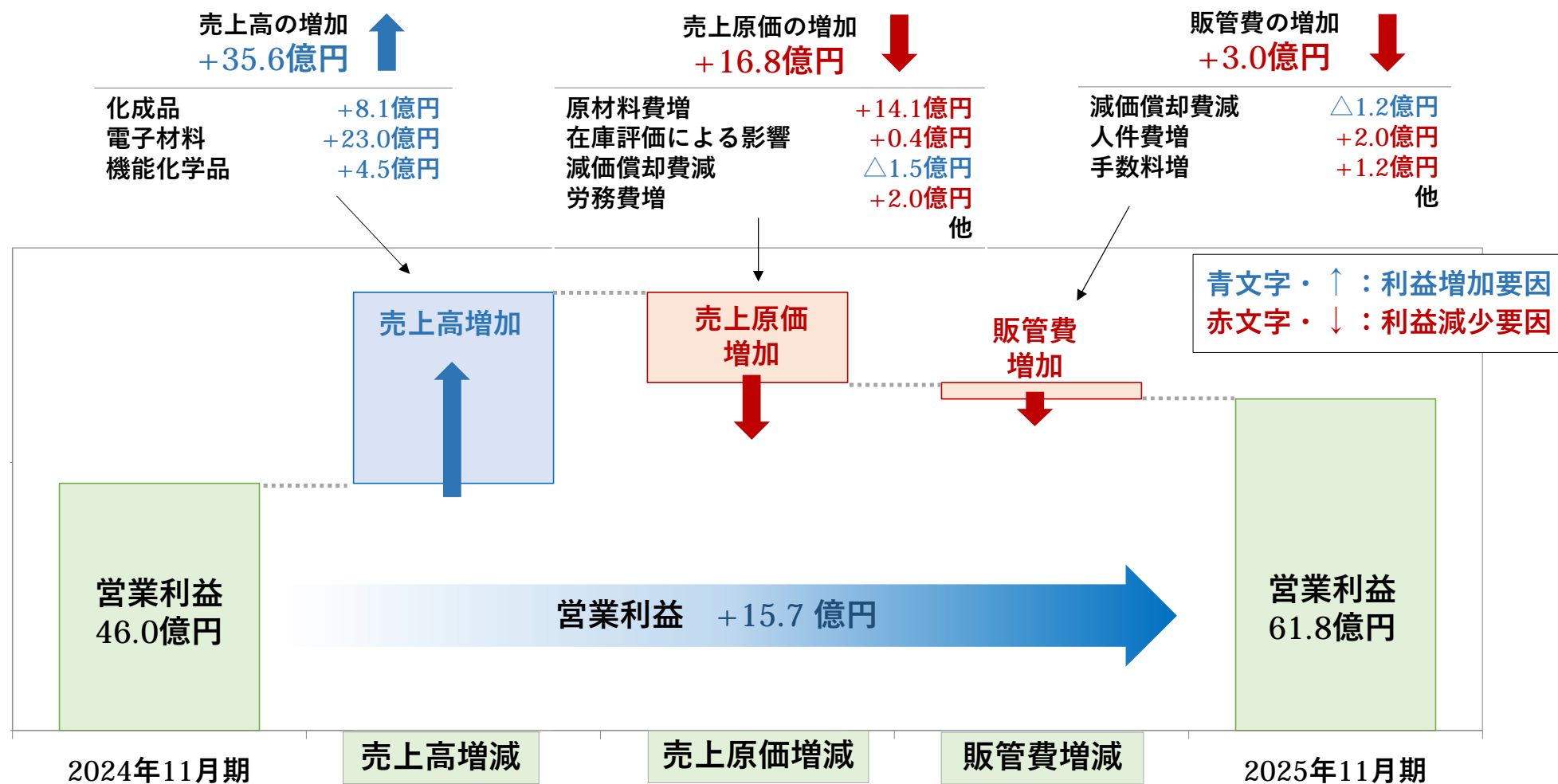
(百万円)

	2024/11 実績	2025/11 当初予想値	2025/11 実績	前年比	
				増減額	増減率
売上高	32,698	34,000	36,265	+3,566	+10.9%
営業利益	4,608	5,000	6,187	+1,578	+34.2%
経常利益	4,753	5,200	6,557	+1,803	+37.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益	4,044	3,500	6,887	+2,842	+70.3%
国内ナフサ (¥/KL)	75,600	75,000	67,225	—	—
為替 (¥/\$)	150	155	149	—	—

## ■ 営業利益の増減要因

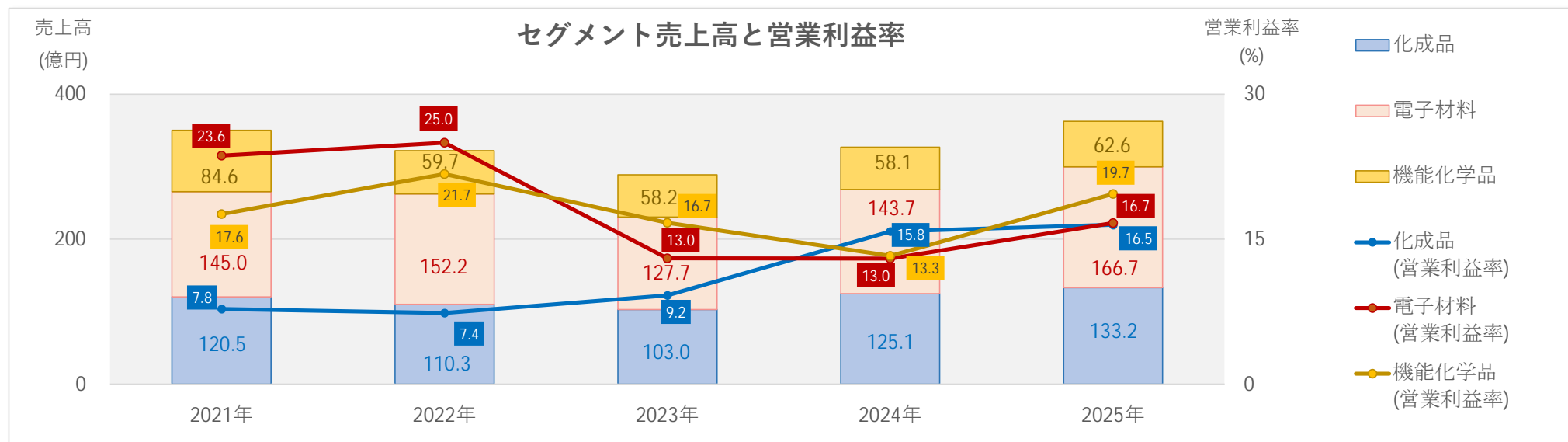
増減  
要因

電子材料を中心に売上高が大きく増加しました。売上原価、販管費では、人件費が増加しましたが、売上高の増加により営業利益は前期比15.7億円増の61.8億円となりました。



## ■セグメント実績

	化成品	電子材料	機能化学品
概要	◇自動車用塗料向けの販売は回復傾向。 ◇ディスプレイ用粘着剤向けやUVインクジェット用インク向けの販売が好調に推移。 ◇メタクリル酸エステルグループは、販売が低調に推移。	◇半導体材料グループは、最先端のEUVレジスト用原料の販売は減少したものの、主力のArFレジスト用原料の販売は回復し、グループ全体の売上高は大幅に増加。 ◇表示材料グループは、タッチパネル用絶縁膜向けの販売は堅調でしたが、グループ全体の販売は横ばいで推移。	◇化粧品原料グループは、販売が横ばいで推移。 ◇機能材料グループは、販売が堅調に推移。 ◇子会社の高純度特殊溶剤等の販売は堅調に推移。
売上高	133.2 億円 (YoY: +6.5%)	166.7 億円 (YoY: +16.0%)	62.6 億円 (YoY: +7.8%)
営業利益	21.9 億円 (YoY: +11.1%)	27.7 億円 (YoY: +48.7%)	12.3 億円 (YoY: +59.9%)



## ■目次

---

01 2025年11月期 決算概要

**02 2026年11月期 業績予想**

03 中期経営計画の進捗状況

04 参考資料

## ■2026年11月期 業績予想

### 通期業績予想

2026年11月期は半導体市場では回復傾向が継続、化成品・機能化学品の市場も堅調と見込み、当社の売上高は12億円増収の375億円と予測しております。また、減価償却費の減少などにより営業利益は2億円増益の64億円と見込んでおります。

(※純利益の減少は主に、前期に31億円の補助金収入を特別利益として計上した影響)

(百万円)

	2025/11 実績	2026/11 予想	対前年実績	
			増減額	増減率
売上高	36,265	37,500	+1,234	+3.4%
営業利益	6,187	6,400	+212	+3.4%
経常利益	6,557	6,600	+42	+0.6%
親会社株主に帰属する当期純利益	6,887	4,500	△2,387	△34.7%
国内ナフサ (¥/KL) (当社推定)	67,225	60,000	—	—
為替 (¥/\$)	149	145	—	—

## ■ 化成品事業

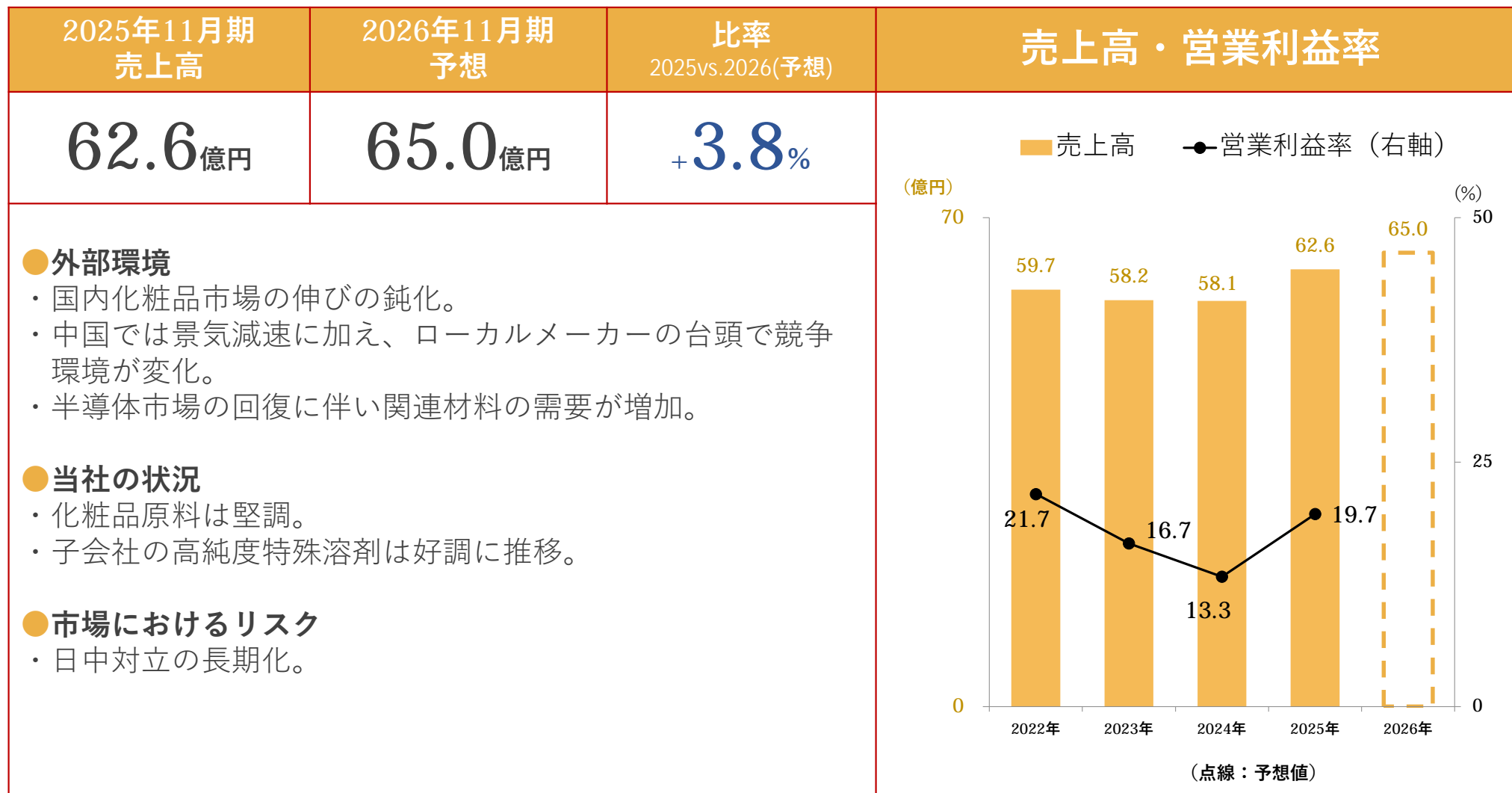
2025年11月期 売上高	2026年11月期 予想	比率 2025vs.2026(予想)	売上高・営業利益率
133.2億円	137.0億円	+2.8%	<p>■ 売上高 ● 営業利益率 (右軸)</p> <p>(億円) (左軸) (右軸) (%)</p> <p>2022年: 売上高 110.3, 営業利益率 7.4                  2023年: 売上高 103.0, 営業利益率 9.2                  2024年: 売上高 125.1, 営業利益率 15.8                  2025年: 売上高 133.2, 営業利益率 16.5                  2026年: 売上高 137.0 (予想), 営業利益率 (予想)</p> <p>(点線：予想値)</p>
<p>● <b>外部環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車生産は概ね堅調に推移。</li> <li>ディスプレイ関連は、中国の補助金政策などで堅調な状況が継続。</li> </ul> <p>● <b>当社の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>自動車用塗料向けは回復傾向。</li> <li>ディスプレイ用粘着剤向け、UVインクジェット用インク向けは好調に推移。</li> <li>アメリカの関税政策の影響は限定的。</li> </ul> <p>● <b>市場におけるリスク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>天然由来原料相場の高騰。</li> <li>急激な為替の変動。</li> </ul>			



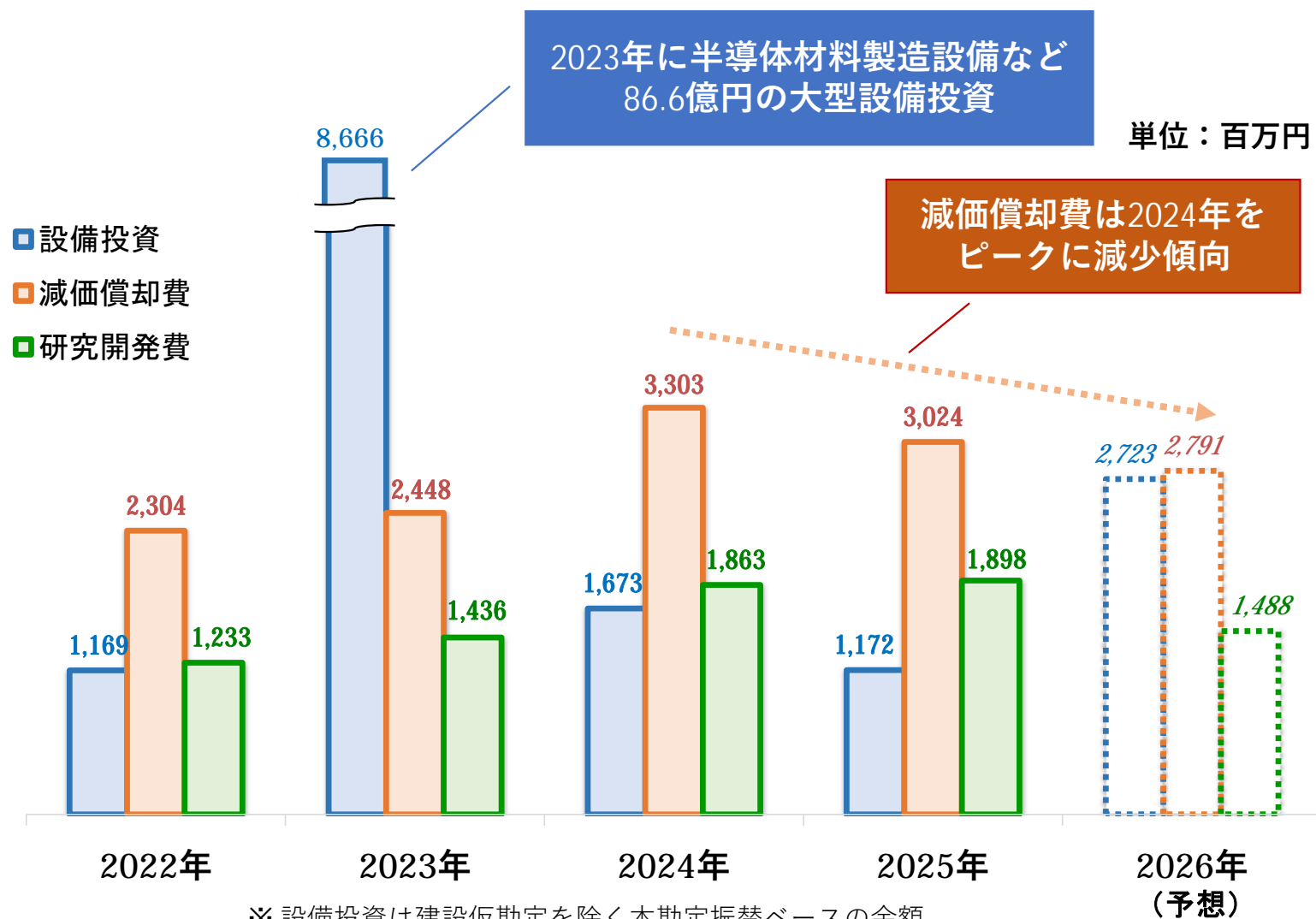
## ■ 電子材料事業

2025年11月期 売上高	2026年11月期 予想	比率 2025vs.2026(予想)	売上高・営業利益率																		
166.7億円	173.0億円	+3.7%	<p> <span style="color: red;">■</span> 売上高    <span style="color: black;">●</span> 営業利益率 (右軸)         </p> <table border="1"> <caption>売上高・営業利益率 (2022年～2026年)</caption> <thead> <tr> <th>年</th> <th>売上高 (億円)</th> <th>営業利益率 (%)</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2022年</td> <td>152.2</td> <td>25.0</td> </tr> <tr> <td>2023年</td> <td>127.7</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>2024年</td> <td>143.7</td> <td>13.0</td> </tr> <tr> <td>2025年</td> <td>166.7</td> <td>16.7</td> </tr> <tr> <td>2026年 (予想)</td> <td>173.0</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> <p>(点線：予想値)</p>	年	売上高 (億円)	営業利益率 (%)	2022年	152.2	25.0	2023年	127.7	13.0	2024年	143.7	13.0	2025年	166.7	16.7	2026年 (予想)	173.0	-
年	売上高 (億円)	営業利益率 (%)																			
2022年	152.2	25.0																			
2023年	127.7	13.0																			
2024年	143.7	13.0																			
2025年	166.7	16.7																			
2026年 (予想)	173.0	-																			
<p><b>● 外部環境</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>半導体市場は最先端品が牽引して回復基調が継続。</li> <li>液晶ディスプレイ市場は中国シフトが継続。</li> </ul> <p><b>● 当社の状況</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>主力のArFレジスト用原料は、回復傾向が継続。</li> <li>EUVレジスト用原料は、開発品が多いため振れ幅が大きい。</li> <li>表示材料グループは、堅調に推移。</li> </ul> <p><b>● 市場におけるリスク</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>米中経済対立の激化。</li> <li>中国での半導体内製化の進展。</li> </ul>																					

## 機能化学品事業



## ■ 設備投資・減価償却費・研究開発費の推移



## ■目次

---

01 2025年11月期 決算概要

02 2026年11月期 業績予想

**03 中期経営計画の進捗状況**

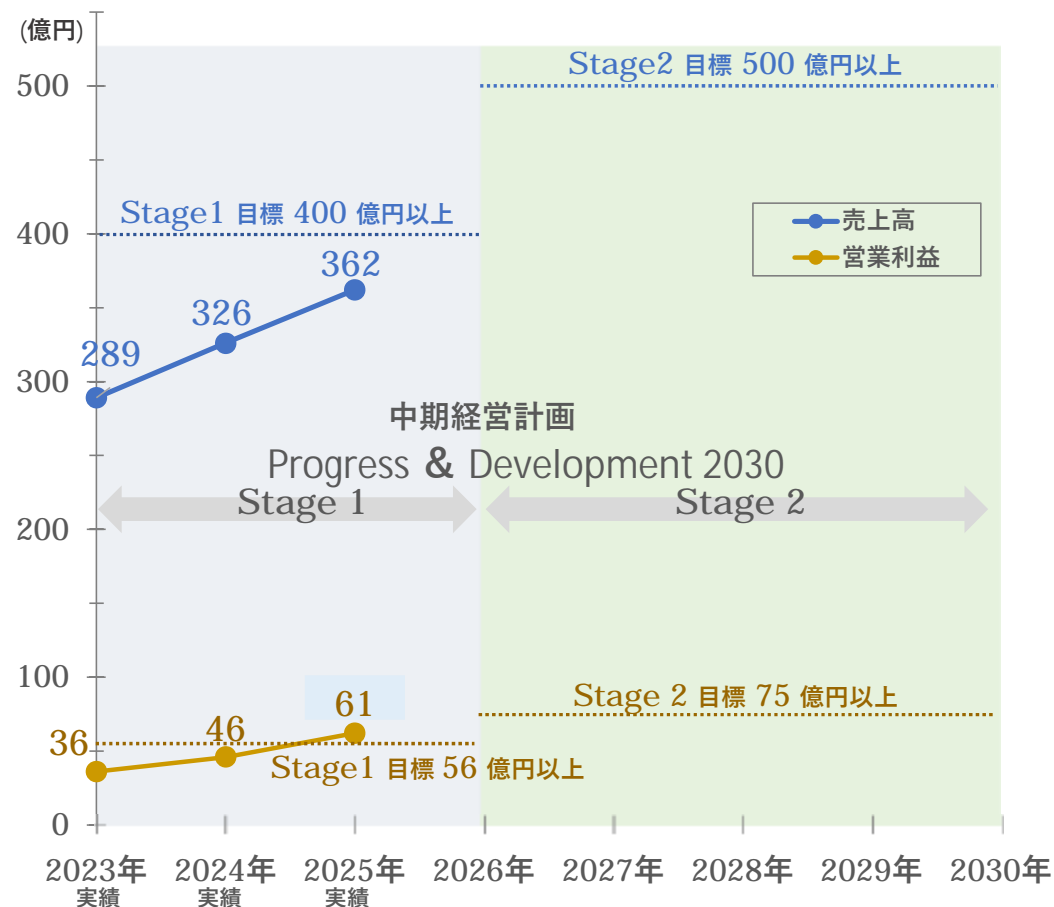
04 参考資料

## ■ 中期経営計画 P & D 2030 目標値と現在

2024～2026年までのStage1目標に対し、売上高は堅調に増加。営業利益、営業利益率は達成。2026年度での目標達成に向けて施策を投じてまいります。

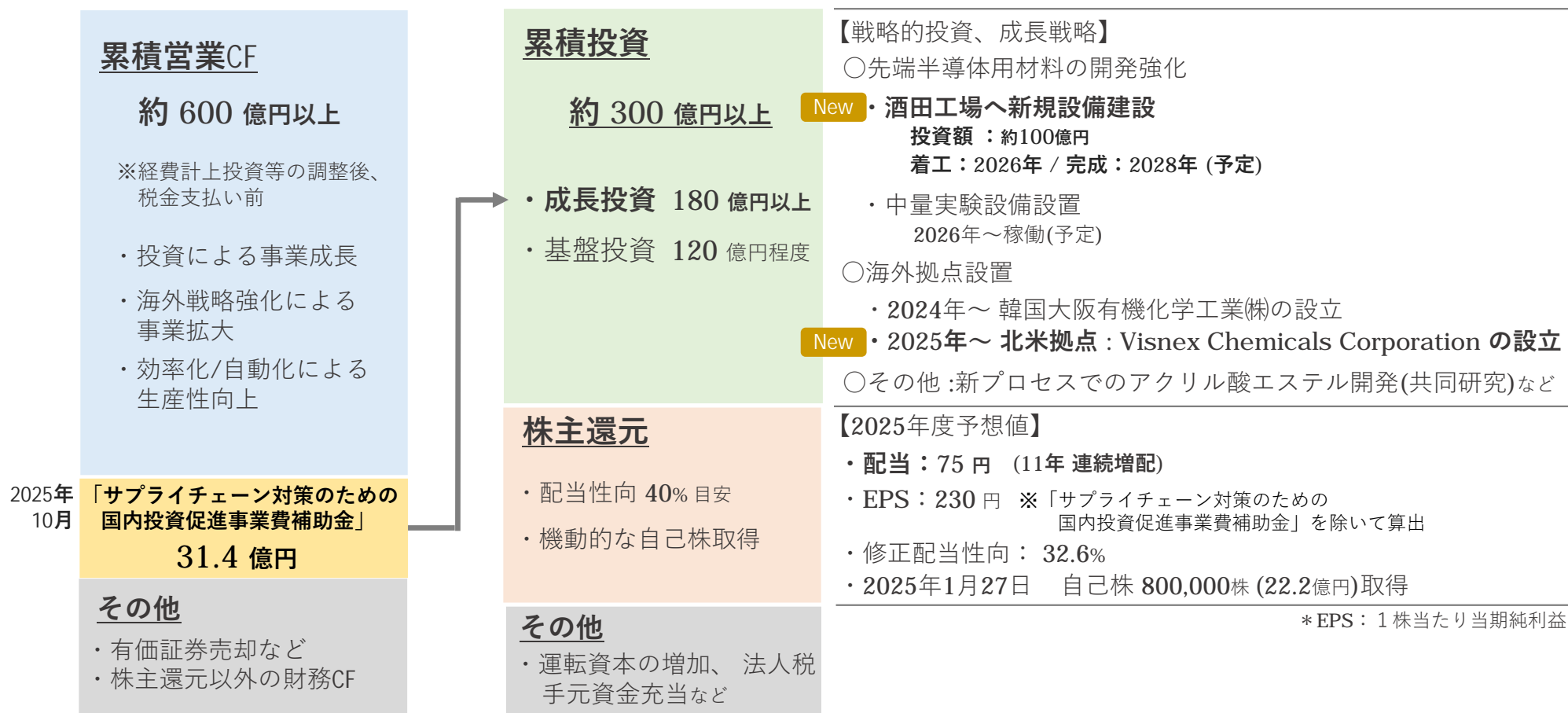
	目標値		2024年 実績	2025年 実績
	Stage 1 ~2026年	Stage 2 ~2030年		
売上高	400 億円	500 億円	326 億円	362 億円
営業利益	56 億円	75 億円	46 億円	達成 61 億円
売上高営業利益率	14.0 %	15.0 %	14.1 %	達成 17.1 %
戦略・事業投資	累積 300 億円以上			
ROE	10.0 %	12.0 %	9.1 %	※ 14.5 % 補助金除く 10.1 %
ROIC	8.0 %	9.0 %	6.6 %	8.6 %
配当性向	40 %目安		34.5 %	修正配当性向 32.6 %
PBR			1.2 倍	1.6 倍

※ 「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」  
31億4千万円を特別利益として計上



# ■ 中期経営計画 P & D 2030 キャピタルアロケーション

2025年10月に確定した補助金も加え、大規模な事業への投資を計画。  
事業成長と効率化によって利益を最大化し、成長投資や株主還元により資源を適切に配分していきます。



## ■ 中期経営計画 P & D 2030 半導体用材料での取り組み

酒田工場に新製造プラントの建設を予定し、①先端半導体用材料の生産能力強化と②高純度技術向上を推進。さらに、金沢工場との2拠点生産体制による③BCP（事業継続計画）を実施し、安定的かつ持続可能な供給体制を構築してまいります。



研究開発

中量実験

試作

工業化

現中期経営計画 P&D2030 施策

中量実験設備(EUV用)

試作フェーズにおける  
評価/検証サイクルを高速化  
スムーズなスケールアップ  
による一貫製造を実現

(2026年稼働予定)

前中期経営計画 NS10 施策

金沢工場（石川県）  
プラント建設など

設備投資額：195億円  
(2019～2023年累積)

現中期経営計画 P&D2030 施策

酒田工場（山形県）  
先端半導体用材料の新規設備建設

設備投資額：約100億円  
対象商品：半導体関連材料  
着工/完成 予定：2026年着工 / 2028年完成

※2025年12月22日付プレスリリース  
「半導体関連材料の新規設備建設に関するお知らせ」

金沢・酒田の複数拠点生産によるBCP強化  
安定した供給体制の構築

## ■ 中期経営計画 P & D 2030 海外戦略の強化

2024年に韓国拠点を設置。さらに2025年に北米拠点として合併会社(Visnex Chemicals Corporation)を設立。中国拠点と共にアジア・アメリカへの拡販に注力し、海外販売拡大に努めます。



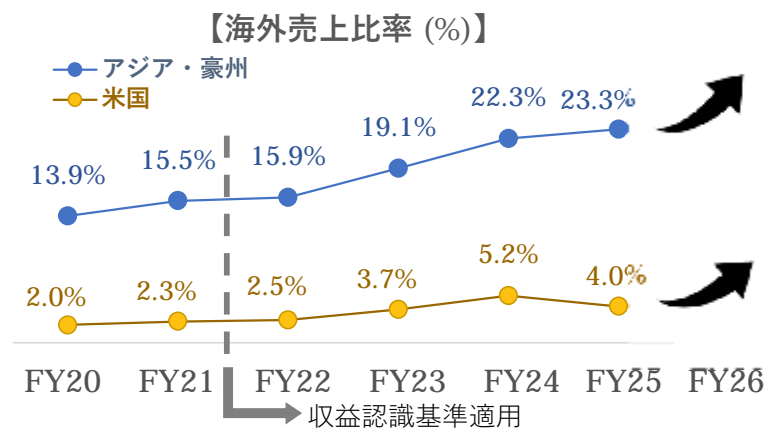
2025年～

**新設** 北米拠点：



**Visnex Chemicals Corporation**

商号 : Visnex Chemicals Corporation  
 所在地 : 米国 ニュージャージー州  
 代表者 : 村上 功一 (当社 事業本部 副本部長)  
 事業内容 : 特殊アクリル酸エステル類の販売  
 資本金 : USD 2,750,000  
 出資比率 : 当社 70% / 新中村化学工業株式会社 30%

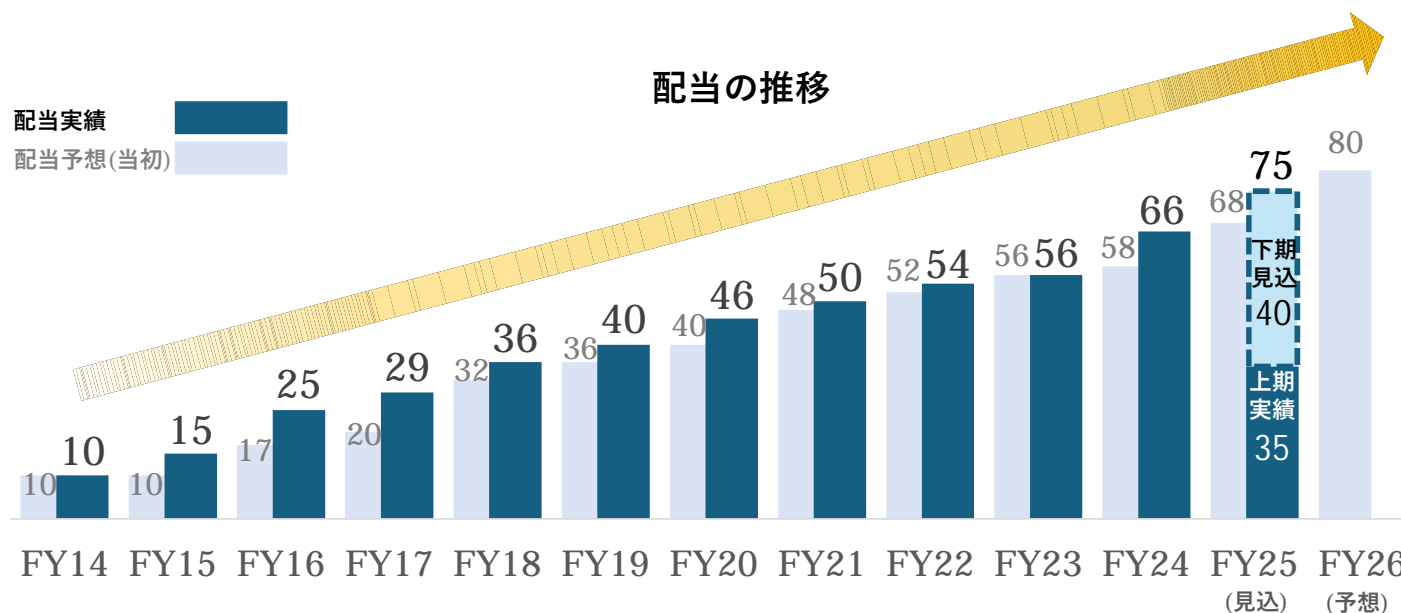




## ■ 中期経営計画の目標と実績

FY25株式配当はFY24に次いで大幅な増配を予定。11年連続増配見込。

配当性向 40%目安とし、機動的な自己株取得を実施しつつ株主還元向上につなげてまいります。



**株主配当**  
**12年連続増配(予想)**  
 FY14から8.0倍の増配

	FY14	FY15	FY16	FY17	FY18	FY19	FY20	FY21	FY22	FY23	FY24	FY25 (見込)	FY26 (予想)
EPS	39円	57円	91円	97円	121円	137円	150円	226円	217円	153円	191円	※230円	220円
配当性向	25.7%	26.4%	27.5%	30.0%	29.8%	29.2%	30.8%	22.2%	24.9%	36.6%	34.5%	※32.6%	36.4%
総還元性向	25.7%	37.9%	36.4%	30.0%	46.5%	29.2%	30.8%	22.2%	60.7%	54.7%	45.0%	※79.7%	—
自己株取得	-	-	336 百万円	-	449 百万円	-	-	-	1,698 百万円	598 百万円	426 百万円	2,224 百万円 (2025年1月)	-

※ FY25の数値は「サプライチェーン対策のための国内投資促進事業費補助金」を除いて算出

## ■目次

---

01 2025年11月期 決算概要

02 2026年11月期 業績予想

03 中期経営計画の進捗状況

**04 参考資料**

## ■貸借対照表

(百万円)

	2024/11	2025/11	増減額	主な内訳	増減額
<b>資産</b>					
流動資産	34,287	37,806	+3,519	現金及び預金	+2,874
有形固定資産	18,415	16,828	△1,586	機械装置及び運搬具（純額）	△1,488
無形固定資産	73	39	△34		
投資その他の資産	7,188	9,039	+1,851	投資有価証券	+1,346
<b>負債</b>					
流動負債	11,729	11,218	△511	1年内返済予定の長期借入金 未払法人税等	△1,654 +1,222
固定負債	2,094	1,958	△136	長期借入金 繰延税金負債	△534 +379
<b>純資産</b>					
株主資本	42,712	45,965	+3,252	利益剰余金 自己株式	+5,449 △2,197
その他の包括利益累計額	2,723	3,735	+1,012	その他有価証券評価差額金	+796
非支配株主持分	704	835	+131		

財務指標	2025/11時点
自己資本比率	78.0%
手元流動性比率	4.7ヵ月
DEレシオ	0.03
ネットDEレシオ	-0.32
インタレスト・カバレッジ・レシオ	1,007倍

## ■ 損益計算書

### 営業外 損益

営業外収益は、当期計上の受取保険金などにより前期比では増加しました。  
営業外費用は、前期計上の為替差損や寄付金などにより前期比では減少しました。

### 特別 損益

特別利益は、前期計上の政策保有株式売却益や当期計上の補助金収入により前期比では大幅に増加しました。

青字：利益増加要因  
赤字：利益減少要因

(百万円)

	2024/11	2025/11	増減額	主な内訳	増減額
営業外収益	205	381	+175	受取配当金 為替差益 受取保険金	+23 +26 +101
営業外費用	60	10	△49	為替差損 寄付金	△20 △27
特別利益	815	3,167	+2,352	投資有価証券売却益 補助金収入	△787 +3,140
特別損失	1	2	+0		

## ■ キャッシュ・フロー

(百万円)			
	2024/11	2025/11	主な内訳
営業活動によるCF	8,600	7,094	税金等調整前当期純利益 9,722 減価償却費 3,004 補助金収入（投資CFへ） △3,140 法人税等の支払額 △1,645
投資活動によるCF	△298	1,459	有形固定資産の取得による支出 △1,220 補助金の受取額 3,140 関係会社株式の取得による支出 △298
財務活動によるCF	△3,127	△5,881	長期借入金の返済による支出 △2,188 自己株式の取得による支出 △2,226 配当金の支払額 △1,430
現金及び現金同等物に係る換算差額	△18	74	
現金及び現金同等物の増減額	5,156	2,747	
現金及び現金同等物の期末残高	13,047	15,872	

### <将来情報に関する注意事項>

本資料の業績予想や経営計画は、現時点において見積もられた見通しや計画であり、これまでに入手可能な情報から得られた判断に基づいております。従いまして、実際の業績等は、様々な要因やリスクにより大きく異なる結果となる可能性があり、いかなる確約や保証を行うものではありません。



大阪有機化学工業株式会社

【お問い合わせ】  
管理本部 IR・広報担当  
TEL 06-6264-5071 (代表)